

2019年度 一般社団法人 八女青年会議所

役員基本方針（案）

氏 名	樋口 和俊
役職名	副理事長
基 本 方 針	
<p>八女青年会議所は、今年 60 年の節目の年を迎えます。</p> <p>60 年前の日本を想像してみると、終戦から 10 年余が経った、日本が復興の真っ只中にある激動の時代です。その時代に生きた多くの先輩諸兄の熱き「思い」が形となって青年会議所の発足に至り、歴史となって現代まで受け継がれています。私たちは、その歴史の重みを誇り、引き継ぐだけにとどまらず、未来へと継承させる重責を担っているのです。</p> <p>しかし、近年の会員数の減少や、効率化の過度な追求、結果至上主義等を背景とし、継承の軸となる「思い」が見えづらくなってきていることは問題だと考えます。ただし、ここで重要なのは、「思い」は決して消滅してはいないということです。現代日本人の特徴と揶揄されがちな、同調力、発信しない受け身の立ち位置によって「思い」は、確かにそこに在るのにもかかわらず、見えにくくなっているだけだ、ということなのです。</p> <p>そこで、私たちは、その「思い」をだれもが認めるはっきりとした存在に際立たせます。メンバーひとりひとりの中に確かに在る「思い」をひとつに結びつけ、より強固なものへと進化させる手助けをします。</p> <p>そのためにはまず、メンバーひとり一人が「明るい豊かな社会」の実現を強くイメージし、例会への参加と例会の意義を再考しなければなりません。また、会員拡大のために活動を惜しまず、過去からつないだ襷を新しいメンバーに継承していかなければなりません。</p>	